

## 金さんからのメッセージ



19歳の時に群馬県の国立ハンセン病療養所を訪れた際に、重度の後遺症をもつ元患者の方と出会い衝撃を受けました。

こんな先進国の日本の中で強制的に国策により自由を奪われ苦しんでいる人々がいること。差別と偏見を受けて生きている人々がいること。そして、療養所に通い続ける中で、そこに朝鮮人差別が有ることを知りました。

二重の差別を受けながら自分の居場所を探す人々。そして私自身も在日コリアンとして自分の居場所を探す為に韓国を訪問し、人種や国籍などではなく、どう生きていくかが大切なのだということに気づきました。

療養所入所者で詩人の桜井哲夫氏と出会い、交流を深める中で教えられた数々の事、また「共に生きる上で大切な事とは何か？」を、皆さんにお伝えできればと思います。

## プロフィール

- 1976年1月1日誕生
- 1993年  
東京朝鮮中高級学校卒業
- 1998年  
恵泉女学園大学人文学部日本文化学科卒業
- 1996年4月～1998年3月  
在日コリアンの若者向け全国誌月刊『セセデ』に「金正美のキャンパスライフ」を連載
- 1997年4月～1998年3月  
講談社月刊『現代』編集部にて編集補助業務
- 1998年～2000年1月  
劇団四季編集部にて会報誌『ラ・アルプ』及び各作品プログラムを制作・編集
- 2000年2月～現在  
NHK総合・教育テレビなど放送字幕の制作
- 2002年7月  
NHK出版より『しがまっこ溶けた～詩人桜井哲夫との歳月』出版

## 問合せ先

桂川町隣保館 隣保館・人権同和教育係 (☎65・1187)